

KS-3300_ml ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・京成3300形更新車
本キットは、トレーラー車専用です。
動力ユニット付き車に使用すると、チラツキ対策を施していないため、前進時にテールライトが、後進時にヘッドライトが、チラチラと点灯してしまいます。

⚠️【注意】

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

- ・ライトユニット : 1個/セット
- ・通過標識灯ユニット : 1個/セット

【その他】

- ・説明書(本紙) : 1枚
- ・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかりと貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。




【必要な工具】

- ・カッティングマット
- ・ピンセット
- ・ニッパ
- ・プラスドライバー
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)
- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)
- ・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ポンチ(ブッシュピンなどでも可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・遮光用の塗料(黒または銀)

● 取り付け手順

※網かけの項目は、通過標識灯ユニットなし場合には不要な項目です。

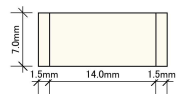


1. 分解する			2. 車体を加工する	
1-1 床板を外す	1-2 側窓を外す	1-3 前面を分解する	2-1 側窓を加工する	
				
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	側窓を、前面窓との端み合部をコジって外します。 屋根を外す必要はありません。	前面透明パーツを外します。貫通扉パーツとの隙間を精密ドライバーなどでコジって外します	貫通扉パーツを外します。ボディとの隙間を精密ドライバーなどでコジって外します	
2-1 前面透明パーツを加工する			3. 床板を加工する	
				
前面窓の直下及び貫通扉部分の段差に切れ込みを入れ、左右のヘッド・テールライト部分を切り取ります。ヘッド・テールライト部分は使用しないので保管します。			シート前端的張り出しより前の部分(約1mm)を切り取ります。	
前面窓・貫通扉窓の直上で切断します。次いで、貫通扉部分の段差の左右及び上で切断し、左右の通過標識灯部分、上の方向幕部分を切り取ります。通過標識灯部分は使用しないので保管します。			貫通扉パーツのヘッド・テールライトの裏側及びライトの穴の中を、銀色の塗料を塗って遮光します。(表側を塗らないように注意します。)	
通過標識灯周辺及び通過標識灯の穴の中を、銀色の塗料を塗って遮光します。			4. ライトユニットを取り付ける	
4-2 前面を組み立てる			4-1 ボディを遮光する	
				
方向幕を取り付け、両面テープで固定します。			貫通扉パーツを取り付け、両面テープで固定します。	
貫通扉パーツを取り付け、両面テープで固定します。			通過標識灯ユニットを取り付け、両面テープで固定します。	
前面窓を取り付け、両面テープで固定します。			前面窓への光漏れを防止するため、3mm×4mmのポリエステルテープを2枚用意し、ライトユニットの上辺に、前側にはみ出すように貼ります。	
5. 配線する				
5-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る		5-2 側窓をはめる		5-3 側窓下にアルミテープを貼る
				
ライトユニットを取り付け、両面テープで固定します。 前項のポリエステルテープが、前面窓から見えていないことを確認します。		側窓をはめます。		2.5mm×103mmのアルミテープを2本用意します。 側窓の下側に、ボディ側窓パーツ・ボディの順で、5-1の前後2カ所の凸部をつなぐように、テープを貼ります。
5mm×7mmのアルミテープを4本用意します。 側窓の内側・両端、ボディとの嵌合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリブに当たるようにします。はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。 両側の側窓の両端、計4箇所の凸部に貼ります。				

(5-3つづき)	5-4 通過標識灯ユニットに配線する	5-5 ライトユニットに配線する
		
両側の側窓下に貼ります。	1.5mm × 18mmのアルミテープで、通過標識灯ユニットの給電パッドから、側窓下のアルミテープまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	1.5mm × 7mmのアルミテープで、ライトユニットの給電パッドから側窓下のアルミテープまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。
	通過標識灯ユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3mm × 6mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm × 3.5mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

5-6 側窓下の重ね貼り

側窓下の通電の確実を期して、2.5mm × 13mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
乗務員室仕切り 型紙  KS-3300		
0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)	乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の中央に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、前側の切口までL字形に貼っておきます。	乗務員室仕切りを、棧の前側に設置します。

